



(第7期) 第12回まつもと子ども未来委員会の報告

12月5日(日)、あがたの森文化会館のホールで、第12回まつもと子ども未来委員会を行いました。この日は、42人の委員のうち、28人の委員が出席しました。

1 市への提言の振り返り

11月21日開催の「松本子どもの権利の日」市民フォーラムで行った、市への提言の振り返りを行いました。個人、グループ、全体について、良かった点、反省点を振り返りました。また、市長、教育長のコメントを聞いて感じたことをまとめました。

◎ 良い点

【個人】

はっきり、堂々と話すことができた。前を見てすらすら話せた。噛まなかった。集中してコメントを聞けたし、ほかのグループの提言についてのコメントも聞けた。スムーズに移動できた。焦らず、ゆっくり発表することができた。

【グループ】

分かりやすく伝えることができた。落ち着いてできた。役割分担がしっかりできた。みんな意見を出すことができた。全員出席できた。当日の急な変更にも対応できた。メンバー全員が主体的に動いていた。準備を早く終わらせることができた。

【全体】

声が大きくてよかった。マイクの受け渡しがスムーズにできた。静かに並べた。「提言する」という目的をもってできた。リハーサルの時に注意されたことを守れた。



△ 反省点

【個人】

声が少し小さかった。集中が途中で切れてしまった。淡々と話してしまった。緊張でがちがちになってしまった。息継ぎする場所を見失って声が震えてしまった。

【グループ】

まとまりがなく、別のことをやっている人がいた。原稿の割り方が入り組んでいた。情報不足で、提言内容が実現されている箇所があった。時間の有効活用ができなかった。

【全体】

声量の差が大きかった。



○ 市長・教育長のコメントを聞いて感じたこと

【環境】

提言したことに対して、対応してくれるようでよかった。褒めてくれてうれしかった。市の取り組みを深く知ることができた。事業系のごみについても注目すればよかった。提言したことの中に、すでに実施していることもあった。他にも提言することができればよかった。

【コロナ】

しっかり聞いてくれてよかった。もっと深く調べて分かりやすくまとめたい。

【PR】

井戸のPRは既に沢山していることが分かった。東屋は設置できるところに設けてほしい。足水は夏しか活用できないので、冬はどうするのか。川についても考えてみたい。

【SNS】

一人一台端末を持っていないので、そのメリットデメリットをまとめて、解決したうえで同世代の子たちに便利に使ってほしいと感じた。

提言したことがきちんと伝わり、行動しようとしてくれることがよかった。



2 今後の活動について

発表が終わり、今後の活動について考えてもらいました。

○ 今後どのように活動していくか

事業系のごみを減らす政策を考える。先代の未来委員会の提言を知りたい。

市庁舎見学などをしたい。未来委員会の知名度を上げるお楽しみ会。

お便りの配布。川の水のPR、地下水のPR。勉強との向き合い方を考える。



次回委員会は、1月16日（日）午後1時30分からあがたの森文化会館2-8で開催します。